



山内千草



安和学治



北川結



大山瑠紗



井上あすか



垣花拓俊

jinno

音楽

演出・振付  
白神ももこ (モモンガ・コンプレックス)

兼島拓也 (チヨコ泥棒)

作・演出

原作

組踊「花売の縁」(高宮城親雲上・作)

2024

11.30

土

14:00 開演

19:00 開演

2024

12.01

日

14:00 開演

| 会場 | 那覇文化芸術劇場なはーと小劇場

| 主催 | 那覇市

| 企画制作 | 那覇文化芸術劇場なはーと、合同会社シマシマ企画

原作 組踊『花売の縁』(高宮城親雲上・作)  
兼島拓也 (チョコ泥棒)  
作・演出 兼島拓也 (チョコ泥棒)  
演出・振付 白神ももこ(モモンガ・コンプレックス)  
音楽 jujuno  
出演 山内千草  
大山瑠紗 (Theater TEN Company)  
井上あすか  
北川結 (モモンガ・コンプレックス)  
垣花拓俊 (ネクストヒーローズ沖縄)  
安和学治 (劇団おとな団)

沖縄が世界に誇る伝統芸能「組踊」。「花売の縁」は1808年に初演され、戦後初めて上演された組踊でもあり、親子の再会を描く物語が当時の沖縄の人たちの心を癒し希望を与えた作品でもあります。環境や生活、時間や距離の感覚が大きく変化した現代、振り子、演出家・白神ももこと劇作家・兼島拓也が沖縄の今昔を通して新たな視点から『花売の縁』を読み解き、現代演劇として再構築します。1830年以降、琉球には西洋諸国からも思惑をもつ人たちが訪れました。さまざまな「縁」は縦横無尽に接続したり途切れたり……。組踊の世界から壮大に広がる物語をお楽しみください。

2024

11.30

土

14:00 開演

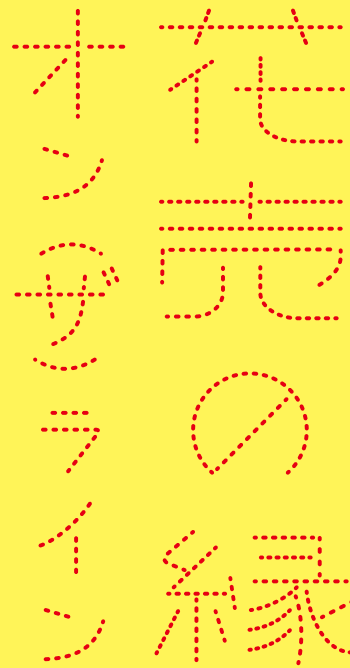
19:00 開演

12.01

日

14:00 開演

\*開場は開演30分前  
\*各回、アフタートークを予定  
\*14時の回は託児サービスあり



会場

那覇文化芸術劇場なはと(1階)  
小劇場

チケット ※全席自由・税込 ※当日券は500円増 ※未就学児入場不可

チケット発売日 2024年9月27日(金) 10:00

一般 | 4,000円 | U24 (24歳以下) | 2,000円 | 18歳以下 | 1,000円 | 障害者・介助者 | 2,000円

※U24、18歳以下のチケットをご購入の方は、当日受付にて身分証のご提示をお願いする場合があります。※障害者のかた1名につき、介助者は1名まで。 ※車椅子席をご希望の場合は、購入前にお問い合わせください。 ※当日受付にて障害者手帳の提示をお願いする場合があります。

\*30日(土)19時は、記録撮影のため場内にカメラが設置されます。 \*全座席ヒアリングループ対応。 \*託児サービス(事前予約・有料)のお申し込みはWEBサイトをご確認ください。 \*本公演のチケットをなはと周辺の対象店舗でご提示いただくとお得なサービスが受けられます。 詳細や対象店舗についてはWEBサイトをご確認ください。



取り扱い 那覇文化芸術劇場なはとチケットサービス

窓口 | 営業時間 10:00-19:00 (休館日を除く)

※窓口でのお支払いは現金のみ

WEB | <https://p-ticket.jp/naha> (24時間対応)

えっ、こんなことが  
そんなことまで書いていいの  
公演日が  
どんどん楽しみにする



くみおどり

「組踊」とは

「組踊」とは、唱え、音楽、踊りによって構成される歌舞劇。中国から琉球王国の新しい国王を任命するためやって来る冊封使(さっぽうし)を歓迎するため、18世紀初に踊奉行(おどりぶぎょう)であった玉城朝薫(たまぐすくちょうくん)が創始、1719年の尚敬王(しょうけいおう)の冊封儀礼の際に、「二童敵討」と「執心鐘入」の2演目が初めて演じられた。1972年、「組踊」は国の優れた芸能の一つとして、重要無形文化財に指定され、2010年にはユネスコの無形文化遺産にもなっている。

はなうり えん 原作/組踊『花売の縁』のあらすじ

首里の下級士族・森川の子は、さまざまな不幸が続いたため生計が立ちゆかず、妻・乙樽と幼子・鶴松を首里に残し、単身で遠く離れた山原の大宜味へと出稼ぎにでたが、その後、音信不通となってしまふ。そうして12年が経ち、良家の乳母として働き安定した生活を得ていた乙樽は、鶴松と共に夫を探す旅に出るが…。

出会いシリーズとは…

違う地域で活動するアーティスト同士の“出会い”。観客のみならず演劇の戯曲との“出会い”。様々な出会いからたちあがる舞台作品をなはとでお楽しみいただくシリーズです。

演出・振付

白神ももこ (シラガ・モモコ)

振付家・演出家・ダンサー。ダンス・パフォーマンス的グループ「モモンガ・コンプレックス」主宰。モモンガ・コンプレックスの全作品の構成・振付・演出を担当。無意味・無駄を積極的に取り入れユニークな空間を醸し出す作風には定評がある。フェスティバル/トーキョー14にて美術家毛利悠子、音楽家宮内康乃らとストラヴィンスキーの「春の祭典」の新解釈の総合演出振付として参加。2020年には、フェスティバル/トーキョー20にてコロナ禍での作品、ミュージカルのダンス・パフォーマンス『わたしたちは、そらっている。』を上演。2017-2018年度セゾン文化財団ジュニアフェロー。2019年より埼玉県富士見市民文化会館キラリふじみ芸術監督。



撮影 北川姉妹

モモンガ・コンプレックス <https://momongacomplex.info/>

作・演出

兼島拓也 (カネシマ・タクヤ)

劇作家。1989年、沖縄市出身。2013年に演劇グループ「チョコ泥棒」を結成し、作・演出を担当。沖縄の若者言葉を用いた会話劇を得意とし、コメディやミステリを軸としたオリジナル作品の上演を行う。また、琉球舞踊家との演劇ユニット「玉どろぼう」としても活動。2022年、『ライカムで待っとく』(KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース)、第30回読売演劇大賞優秀作品賞、第26回鶴屋南北戯曲賞・第67回岸田國士戯曲賞最終候補となり、2024年神奈川、京都、久留米、那覇にて再演。また、『刺青/TATTOOER』(脚本)を日英にて上演。その他の作品に「ふしぎの国のハイサイ食堂」(NHK、第31回オーディオドラマ奨励賞入選)、『Folklore (フォークロア)』(第14回おきなわ文学賞シナリオ・戯曲部門一席)など。



チョコ泥棒 <http://chocodorobo.com/>

【スタッフ】 アドバイザー：神谷武史 舞台美術：鈴木健介 衣裳：Aco Miyagi (millie haven) 照明：棚原栄作(株)エムエルスタジオ 音響：屋比久夏芽(株)エスエルアイ 舞台監督：津嘉山弘(月光道) 大道具製作：(同)みやぎ道具 宣伝美術：アイデアにんべん 写真：大湾朝太郎 稽古場日記：奥間空 ハラスメント防止研修：植松侑子 制作：鳥袋葉子(シマシマ企画) プロデューサー：土屋わかこ 協力：株式会社梅田芸術劇場、合同会社他力、チョコ泥棒、モモンガ・コンプレックス、桂波那

【主催】 那覇市 【企画制作】 那覇文化芸術劇場なはと、合同会社シマシマ企画



バス  
①若松入口 徒歩約6分  
②久茂地公民館前 徒歩約2分  
③沖銀本店前 徒歩約6分  
④松尾一丁目 徒歩約6分  
⑤松尾 徒歩約6分

モノレール  
⑥県庁前駅 徒歩約6分  
⑦美栄橋駅 徒歩約6分

\*一般駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。  
\*バリアフリー駐車場、二輪(バイク・自転車)専用駐車場は若干台数ございます。  
〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地 3-26-27

問い合わせ  
那覇文化芸術劇場なはと

電話 | 098-861-7810 受付時間：10:00-19:00  
休館日は第一・第三月曜日/祝日の場合には翌火曜日  
WEB | <https://www.nahart.jp> | メール | [kikaku-nahart@city.naha.lg.jp](mailto:kikaku-nahart@city.naha.lg.jp)